

折尾愛真ニュースレター

学園聖句：「光の子らしく歩きなさい」

(エペソ人への手紙5章8節)

Vol. 22

2009年 11月
9号

建学の精神

Since 1935 (昭和10年)

- ・キリスト教に基づく人格教育を行います。
- ・専門教育における職業教育を行い、有能な人材を育成します。
- ・自主独立の精神を養います。
- ・国際交流による国際理解教育を行います。



折尾愛真高等学校

普通科 / 看護科 / 看護専攻科 / 商業科

TEL 093-602-2100 (代表) FAX 093-692-5690

E-mail: info@orioaishin.ac.jp

URL: http://www.orioaishin.ac.jp/

文化祭

インフルエンザ対策として全員マスクを着用しての観覧となりました。

10月30日(金)、平成21年度文化祭が行なわれ、今年度のテーマ「笑今笑」(わらいましょう)～この瞬間を大切に～をテーマにステージや校内販売作品展示など思い出に残る一日となりました。



福祉コース

10月16日(金)、福祉コース2年生の実習反省会がありました。10日間の実習での問題点や今後の課題について活発な意見交換がなされ、参加していた1年生にも来年に向けての良きアドバイスになりました。

美容専科コース

第6期生 美容専科コース入学式

10月19日(月)、美容専科コース第6期生34名が福岡美容専門学校通信課程に入学しました。毎年合格率を伸ばしているこのコースは、福岡県下初のダブルスクール制度を採用し、美容師国家試験合格をめざします。3年6ヶ月という短期間で美容師国家試験受験資格を取得できる利点もあり、入学者が増加しています。来年度(平成22年度)より女子のみの募集となります。

特別講習

10月3日(土)、福岡美容専門学校北九州校の土井先生・松浦先生・学生の菊地さんをお迎えし、ヘアとメイク講座・ウォーキングとポージング講座を行いました。



フーバ・ビューティ・コンGRESS 第32回福岡県美容技術選手権大会

10月5日(月)、福岡国際センターにおいて、フーバ・ビューティ・コンGRESS第32回福岡県美容技術選手権大会があり本校から美容専科コース2年生5名と3年生5名の10名が学生の部・一般の部に分かれワインディング競技に参加しました。2年生の中島小波(湯川中学出身)が学生の部で3位、3年生の安永真唯(宗像中央中学出身)が一般の部で努力賞を受賞しました。

学生の部
3位入賞の
2年中島
小波さん



一般の部努力
賞の3年安永
真唯さん





第2回学校見学会 盛会のうちに終わる!

10月24日(土)第2回学校見学会があり、230名近くの中学生・保護者参加のもと熱気溢れる見学会となりました。生徒による学校紹介のあと、それぞれの科・コースごとの体験学習では、いち早く高校の授業や実習を体験し今後の進路指導に役立てていました。



推薦入試要項

2010年度(平成22年度) 募集要項

一般入試要項

学科	コース	募集人員	出願期間
普通科	特別進学 普通 福祉 保育 インターナショナル*	定員の 40%程度	平成22年 1月12日(火)~ 1月22日(金) 受付 午前9時~ 午後6時 ※日曜日・祝日は除きます。 ※土曜日は午前9時~ 午後3時まで とします。
	五年一貫看護科・ 看護専攻科		
商業科	商業 美容専科 (女子のみ) 製菓衛生師		

※インターナショナルコースは外国人女子留学生のみ募集

学科	コース	募集人員	出願期間
普通科	特別進学 普通 福祉 保育 インターナショナル*	150名	平成22年 1月12日(火)~ 2月1日(月) 受付 午前9時~ 午後6時 ※日曜日・祝日は除きます。 ※土曜日は午前9時~ 午後3時まで とします。
	五年一貫看護科・ 看護専攻科	70名	
商業科	商業 美容専科 (女子のみ) 製菓衛生師	120名	

※インターナショナルコースは外国人女子留学生のみ募集

試験日	試験科目	合格発表
1月26日(火)	基礎学力(国・数)・面接	1月28日(木)

試験日	試験科目	合格発表
2月4日(木)	国・数・社・理・英	2月8日(月)

中学生のための 学校見学会

第3回

11/21

土

第1部

10:00~

学校紹介

生徒による教育方針と各科コースの教育活動報告

第2部 入試説明

①募集要項 ②入試傾向と対策 ③過去問題を配布
各科コース選択の視点、入試制度(推薦・一般)や学費など受験生や保護者の疑問にお答えします。受験までの二ヶ月、必要なデータを収集し、受験に備えましょう。

第3部 部活動紹介

有意義な高校生活を送るための部活動選びの参考にしましょう。

第4部 入試相談・校内見学・部活動見学

- ①看護実習室
- ②福祉実習室
- ③コンピュータ室
- ④器楽実習室
- ⑤製菓実習室
- ⑥美容実習室

「折尾歴史探訪」

第2回 堀川 ②

「運河の完成は宝暦十年(1760)ですが、遠賀川から水引きする中間の唐戸の完成は宝暦十二年(1762)で大変苦勞して造りあげます。五平太舟の運行開始はその翌年の宝暦十三年と云われています。一応完成を見ますが、響灘の満潮と遠賀川の満水が重なると流水が逆流して、上流域に被害が出るようになり、享和二年(1802)に着工して寿命に唐戸を造り、遠賀川の流水を笹尾川に分流するようにします。完成は文化元年(1804)のことでした。堀川は遠賀川から奥洞海湾までの全長12.1kmの疎水を通称堀川と呼んでいます。河川管理上次のように区分して呼んでいます。・寿命の唐戸から自然河川笹尾川(楠橋)までの約0.7kmを堀川・楠橋から中間の土手の内までの約1.9kmは自然河川笹尾川に乗って流水・中間の土手の内から中間の唐戸までの0.2kmを新堀川・中間の唐戸から洞海湾までの約9.3kmを新々堀川 今では昔の面影はありませんが、昭和の始め頃は、石炭を積んだ五平太舟が通っていました。流水は綺麗で、舟上で生活する舟頭さんの家族は、堀川の水で米をとぎ、野菜を洗って生活していました。洞海湾近くの両岸には四ツ手網の引網の小屋があって、娯楽のない昔のこと、職工さん達は一晩中魚を採って楽しんでいました。」

<小田弘之氏著『折尾周辺の史跡めぐり』より>